

女と男、もっとわかりあうために

かれんと

No.15

1999.9.25

Current: カレント
 —時代の流れあるいは
 新しい潮流—

気になりませんか？

こんな言葉 あんな言葉



ふだん何気なく使っている言葉ですが、言葉は相手を喜ばせたり、楽しくさせる力もあり、また悲しませたり、不快にさせることもあります。

女性の地位も向上してきましたが、まだ日常使っている言葉は「女だから・男だから」といった、ジェンダーの意識に影響されていないでしょうか。

今回は、10代から70代の女性69人・男性40人にアンケート調査にご協力いただき、言葉から生まれるジェンダー意識について考えてみました。

家庭 → 家庭で作られるジェンダー

女なら
女らしくしなさい。

使ったことがある女性 28人
使ったことがある男性 15人



男の子なんだから
泣いちゃだめ。

使ったことがある女性 42人
使ったことがある男性 22人



父親は家の中心、
大黒柱として家計を
支えるのは、当然。

使うことが気にならない女性 24人
気になる女性 16人
使うことが気にならない男性 17人
気になる男性 8人

50代女性の声

親から言われてきて、それが当然と思って子どもを育てました。娘もそのように子育てするでしょう。

50代男性の声

自分が散々言われてきたので、子供には言わないように気をつけているが、つい出てしまうんだよね。

ちょっと一言

回答からは「男らしく・女らしく」子育てしたいという意識がうかがわれますが、20～30代の女性の多くは、「女らしく」という言葉が気になるという回答を寄せました。「～らしく」という育て方ではなく、子ども一人ひとりの個性を大切に子育てしたいものです。

また、「家計を支えるのは男の役目」と考えている人は、男女ともに60%以上でした。しかし、「妻は家のことをきちんとしてから仕事に行くべきだ」という考えに対しては、女性の70%以上が「気になる」と回答しています。

女性も経済的に自立し仕事を持つ時代。男女共に協力し合って、家庭生活をしていく事が不可欠です。

地域 → 根強いジェンダー

女は邪魔だ、ひっこんでいる。

言われたことがある女性 17人
この言葉が気になる女性 46人
言ったことがある男性 7人



30代女性の声

地域の集まりの時、「ご主人は来ないの?」と言われました。



地域の役員は
できたら男性が
いいと思う。

この言葉が気になる女性 19人
気にならない女性 22人
気になる男性 13人
気にならない男性 13人

50代女性の声

言われた時はピンと来なくても、後からジワリと腹が立つ言葉もあります。

ちょっと一言

地域の行事や活動など、女性は補佐役だけでなく、企画・運営にも積極的に関わってほしいですね。そして、自治会の役員や政治の分野にも女性の進出が望まれています。これからの地域の活性化のためには、女性も地域や社会に積極的に参加し、男女が共に話し合い、取り組んでいく必要があると思います。



うちの主人はね...

夫を主人と呼ぶこと、気になりませんか?



気になる女性 12人
気にならない女性 35人

40代女性の声

私は「主人」という言葉はきれいな言葉だと思って使っていました。

ちょっと一言

配偶者を「主人」と呼ぶ呼び方をほとんどの女性が抵抗なく使っています。「~さんのご主人」という言い方以外に、相手の配偶者に対する適切な呼称がないせいもあります。

「主人」という呼称は、古くからあるものではありません。もともとは、主従関係を表わすものです。

夫婦がパートナーとして対等な関係を築くためには、お互いをどう呼ぶかも含めて考えてみてください。

ジェンダー Q&A

Q.ジェンダーって何?

A. 生物としての性差(sex)に対して、文化的・心理的・社会的に作られた性差のあり方をジェンダー(gender)といいます。

「男らしさ・女らしさ」や「男は仕事、女は家事・育児」といった性別役割は、必ずしも生物学的な性別によるものではありません。文化や社会のあり方によって、男性役割・女性役割は大きく違います。文化人類学の研究は、このことを明らかにしています。

「女は・男は、こうあるべき」という固定的性別は、家庭や社会の中で植え付けられ、私たちの意識に大きく影響しています。

Q.ジェンダー意識はどうして問題なの?

A 「男の子は責任感を持つてほしい」「女の子は思いやりがほしい」などと、子どもを「~らしく」育てたいと思うのは、日本の社会にきわめて高い傾向です。しかし、一方の性だけに必要な能力や特有の性格というのは、ありえません。

ジェンダーに規定された「らしさ」が、本来一人ひとりが持っているいろいろな能力や可能性を閉ざしてしまうことは、女性にとっても男性にとっても、幸せなことではありません。



職場 → 言葉はコミュニケーション



いい年して
まだ独身なの？

50代女性の声

「相手を見つけた方がいいよ」と言われて、嫌な思いをしました。

いいプロポジション
してるね。

若い子の入れた
お茶はうまいね。



40代女性の声

自分のスタイルに対して「太ったね」とか言われるのは、実際そうでも、とても嫌。

20代男性の声

私は相手をほめているつもりで、相手を傷つけていることが実際は多いと思います。

40代男性の声

とかく女性が被害者のように言われていますが、女性も何気なく男性に対してセクハラ的なことを言っていると思います。

40代女性の声

だれでも年を重ねていきます。中年女性は経験豊富で、考え方が奥深いと思います。

30過ぎてても
まだ結婚
しないの？



30代女性の声

「子どもはまだ？子どもの産めない女性なんて…」と言われて、傷つきました。

20代男性の声

本人は冗談のつもりで、からかっているのかもしれませんが、私はそういう言葉によく傷つくことがあります。

30代女性の声

外見のことを言われるのは嫌です。

男のくせに意気地
がないんだから。

- 使ったことがある女性 26人
- 気にせず使った女性 24人
- 使ったことがある男性 9人
- 気にせず使った男性 4人



30代女性の声

「めめしい男だ」と口には出さなくても、思ったことがあります。

ちょっと一言

何気なく口にした言葉でも、言われた人は気にしています。結婚年齢や「男らしさ」に対するこだわりや、容姿や年齢に関する言葉に、嫌な思いをしている人が多いようです。

今年の4月から改正男女雇用機会均等法が施行され、セクハラに対して配慮義務が設けられました。「相手が望まない行為」であれば、親しみを表すつもりの言動でも、セクハラになることがあります。

また、結婚・容姿などプライベートな話は、職場に限らず、相手のことを考えて口にするべきではないでしょうか。

まとめ

今回のアンケートの結果から、家庭・地域・職場において、まだまだジェンダーの意識が根深いということを感じました。

戦後、職場分離や核家族化によって、「男は仕事・女は家庭」という性別役割分業が生まれ、専業主婦が増えてきました。

しかし、現在、栃木県の女性の労働力率は、51.6%（国勢調査H7）となり、女性の半分以上が働いています。その一方で、女性の家事時間2時間28分に対して、男性は9分（総務庁「社会生活基本調査」H8）と差は大きく、あいかわらず家事は女性の仕事になっています。

固定的な役割分担意識、しさなどのジェンダーが根強く残っている現実が、調査結果に現れていると思います。

今年6月、男女共同参画社会基本法が成立しました。これからは女性も男性も等しく人権を尊重され、社会のあらゆる分野で生き生きと自分の能力を発揮できるジェンダーフリーの社会を目指すことが、国の方針として決定されたものです。

国という単位はもちろん、私たちの身近な家庭・地域・職場にも、男女共同参画の意識づくりをしていきたいと思えます。

PEOPLE

－すてきな男性－



「ウエル・エージング」の実践活動を提唱する

森澤勇三郎さん (笹原田)

緑豊かな笹原田に森澤さんご夫妻のお住まいがあります。...

高校教師、映画のシナリオライター、ミニ・ラジコンカーの発明製作。いずれにおいてもすばらしい業績を挙げ、...

INFORMATION

－お知らせ－



平成10年度地区別懇談会にて

Table with 3 columns: No., Date, Location. Lists 6 events from October to December.

懇談会のお知らせ

地域社会は、教育・環境・福祉・町づくりなど、身近な問題と深く結び付いています。

女性に対する暴力を防止しましょう

女性に対する、夫やパートナーからの暴力は、家庭内の問題とされてきました。

男女共同参画社会基本法成立

本年6月に「男女共同参画社会基本法」が成立しました。

POSTSCRIPT

－編集員から－



ひとくちメモ ジェンダー・フリー社会

社会や家庭で「男らしく・女らしく」と要求される結果、「男は仕事・女は家庭」といった固定的性別役割分担意識が形成されます。

編集後記

この夏、フランス人のホームステイを受け入れました。「笑顔と真心があれば言葉はいらない」とも言いますが、分かり合うためには、やはり、言葉が必要だと思いました。

「ボランティア編集員募集」に作る女性情報紙です。あなたも、ボランティア編集員になりませんか。